

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例

(平成23年1月第4週までの報告分)

○改善事例1

「平成22年度における施設入所児童等への特別支援事業」の一部改正
～事業の対象に子どもへの貯蓄を可能としました～

【改善点】

児童福祉施設に入所する子ども等で、親がいないなどの理由により子ども手当の支給対象とならない子どもについては、平成22年度においては、都道府県に設置された安心こども基金により、子ども手当相当額の特別の支援（物品購入や旅行等）を実施していますが、この特別の支援について、施設関係者や地方公共団体等からの要望を踏まえ、子どもの将来のための貯蓄が可能となるよう関係通知を見直すとともに、施設長が子どもへの貯蓄を行う場合の取扱い及び貯蓄の管理等に関する事項を定めました。

(参考) 報道発表資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000010aq0.html>

(照会先)

雇用均等・児童家庭局総務課調整係（内線 7830）

○改善事例 2

「デジタル撮影によるじん肺標準エックス線画像に関する検討会」の報告書取りまとめについて

【改善点】

厚生労働省では、このたび、「デジタル撮影によるじん肺標準エックス線画像に関する検討会」の報告書を取りまとめました。

検討会では、アナログ写真で作成された現行画像集が相当期間を経て劣化してきたこと、また近年、エックス線写真のデジタル撮影への移行が進んでいることを踏まえ、デジタル撮影による新たな標準画像集（「新画像集」）の作成とその利用方法について、専門家による検討を行いました。

今後、この報告書の内容を受けて今年度中をめどに新画像集を作成し、粉じん作業を行う労働者等の健康管理に役立てていくこととします。

※ 健康障害の原因となり得る粉じん作業を行う労働者については、健康診断を行い、じん肺の所見や症状の程度によって4段階のじん肺管理区分を決定し、区分に応じて事業者は他の作業への転換などの措置を取ることが定められています。

この管理区分は、健康診断で撮影された胸部エックス線写真と、基準となるじん肺標準画像とをじん肺診査医が比較して慎重に判断し、都道府県労働局長が決定します。

現在、このじん肺標準エックス線画像はフィルムの形態で提供・利用されていますが、報告書では、フィルムによる利用に加え、医療機関における医療用モニター等を用いた診断での利用も想定しています。

（参考）報道発表資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000010tq4.html>

（照会先）

労働基準局安全衛生部労働衛生課じん肺班（内線 5493）

○改善事例 3

ドイツにおける鶏肉・鶏卵・豚肉にダイオキシン汚染についての情報提供

【改善点】

海外における重要な食品安全問題については、従前より情報提供を行ってきたところですが、ドイツ国内における、鶏肉、鶏卵、豚肉等のダイオキシン汚染の情報を入手したことから、その概要及び更新情報についても厚生労働省ホームページに掲載しているところです。本件についても、最新の情報が得られた際には、随時情報提供を行うこととしています。

(参考) ドイツにおける鶏肉・鶏卵・豚肉のダイオキシン汚染について

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dioxin/dl/110119.pdf>

(照会先)

医薬食品局食品安全部監視安全課輸入食品安全対策室
(内線 2497、2496、2499)

○今週の現場訪問・意見交換

平成22年度「ものづくり立国・日本」次世代フェスタの開催

【概要等】（参考：来場者数 6,155 人）

1月15日（土）・16日（日）、我が国の産業を支える熟練技能者の技能の継承と将来のものづくりを担う若い世代の確保・育成を目的として、主に小中高生やその保護者、教職員に向けて、ものづくり技能の魅力・重要性を紹介する「平成22年度「ものづくり立国・日本」次世代フェスタ」を東京ビッグサイトで開催しました。

業界団体、農業・工業高等学校、専修学校・各種学校、職業訓練校などが出展し、

- ・ 130を超える幅広い職種の紹介、技能士による一流の腕前の実演、熟練技能士による制作指導を受けられる体験コーナーの設置
- ・ 平成21年9月にカナダ・カルガリーで開催された第40回技能五輪国際大会出場者とのセッション
- ・ ものづくりに携わる著名人の講演 等

様々なイベントが行われました。

中高生や親子連れなど、2日間で6,000人を超える来場者を数え、終日盛況でした。

来場者からは、「子供達が多く職種があることを知り、将来の夢を見つけるきっかけになった」、「手に職を持った人たちの仕事に対する熱意やそれを伝えていこうとする姿勢に強く感動した」、「高校進学を控えているので、進路の選択肢が広がりとても良い勉強になった」、「体験がすべて本格的なもので、子供にとって最高の経験となった」といった感想が多数寄せられました。

【会場の様子】



（開場前のにぎわい）



（ボール盤でサイコロに穴あけ）



（大工さんの指導による小物入れづくり）



（女性技能士が作り上げたお正月の庭）

（照会先）職業能力開発局能力評価課企画係（内線 5943）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。